

インターネットトラブル事例集のご案内

(平成27年度版)

「インターネットトラブル事例集」では、小学校・中学校・高等学校の先生、インターネットトラブルに精通する専門家へのヒアリングを通じて、実際に起きたインターネットトラブルに関する事例を集め、その中から代表的な事例を挙げるとともに、その予防方法と対処法をご紹介します。

特集

スマートフォンを子供に使わせるとき、保護者が気をつけること

- フィルタリング未設定によるトラブル事例 (本編 p.1 をご覧ください)
- フィルタリング設定で回避できるリスク (本編 p.2 をご覧ください)
- スマートフォン利用チェックシート (本編 p.3 をご覧ください)



事例 1 (本編 p.4 ~ 5 をご覧ください)

スマートフォン特有のトラブル



A君は、友達から「インターネットを無料で利用できる場所がある」と教えてもらいました。A君は、その場所に行き、スマートフォンの無線LAN機能でインターネットに接続し、友達とインターネットを楽しみました。

A君が接続していたアクセスポイントは、接続者の通信内容を盗み見るために悪意を持って設置されたものでした。A君は、知らず知らずのうちに、通信内容を盗み見られてしまいました。

事例 2 (本編 p.6 ~ 8 をご覧ください)

書き込みやメールでの誹謗中傷やいじめ



SNSを利用していた小学6年生(男子)のA君。SNSには、多数の友達が登録されていました。ある時、A君は、冗談で友達B君の悪口をSNSに記入。B君には、見られないように設定していましたが、ほかの友達C君からB君に伝わりました。

A君の書き込みに激怒したB君は、自分の日記にきつい言葉でA君への文句を書き込みました。それは、SNS上の友達にあっという間に広まりました。落ち込んでしまったA君は、学校に行けなくなりました。

事例 3 (本編 p.9 ~ 13 をご覧ください)

ウイルスの侵入や個人情報の流出

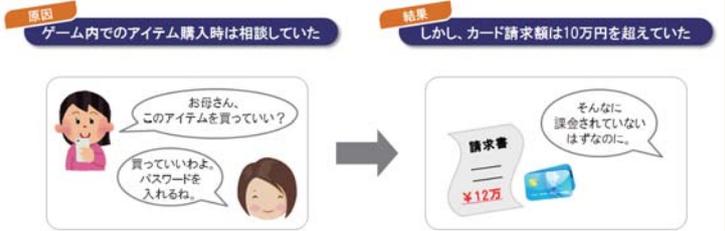


A君は、友達限定の「実名SNS(鍵付きサイト)」と誰でも見れる「匿名プロフィール」を使用。B君はどちらのWebサイトも知っていました。ある時B君は、A君の実名SNSのコメント欄に、A君の匿名プロフィールへのリンクを張ってしまいました。

プロフィールの掲載情報により、A君は特定されてしまい、プロフィールのアルバムや履歴からA君の不適切な行動や発言が明るみに出ました。そして、公開掲示板でA君の情報は晒され、学校や警察を巻き込んだ事態となりました。

事例 4 (本編 p.14 ~ 16 をご覧ください)

思いがけない代金請求や詐欺



Aさんは、小学2年生の娘に自分のスマートフォンを貸して、無料ゲームアプリをさせていました。娘はゲーム内でアイテム購入したいとき、Aさんに相談していました。Aさんは「100円程度だから」と思い、パスワードを入れて購入していました。

ところが、翌月のクレジットカードの請求額が10万円を超えていました。Aさんが調べたところ、パスワードを入れてから数分程度は、パスワードの入力なしで、アイテム購入できる仕組みだったということがわかりました。

事例 5 (本編 p.17 ~ 18 をご覧ください)

著作権法などの違反



ゲームが好きな小学5年生(男子)のA君は、友達から「携帯ゲーム機のソフトが無料で手に入るWebサイトがある」と聞きました。A君はお父さんと一緒にソフトをダウンロード。Webサイトは、ゲーム会社の公式サイトではありませんでした。

A君は、さまざまなソフトが無料で遊べるようになりました。嬉しくなって、友達に教えてあげると「それは悪いことなんだよ」と言われて驚きました。お父さんに相談して調べてもらうと、法律違反だということが分かりました。

事例 6 (本編 p.19 ~ 20 をご覧ください)

誘い出しによる性的被害や暴力行為



中学2年生(男子)のA君は野球部です。ライバル校との練習試合に負けてしまった腹いせで、掲示板にその学校のピッチャーの悪口を書いてしまいました。ある日、A君の下校時に、校門の前でライバル校の野球部員が待ち伏せしていました。

A君は、人があまり来ない公園に連れて行かれ、ライバル校の野球部員数人から暴行を受けました。たまたま通りかかった30代の男性が止めに入ったので、ライバル校の野球部員は逃げて、A君は助かりました。

事例 7 (本編 p.21 ~ 22 をご覧ください)

ゲームなどの中毒性がもたらす悪影響



オンラインゲームにはまっている小学5年生(男子)のA君。夜中でも親に隠れてゲームを楽しんでいました。ゲームに参加しないと、仲間はずれにされるのではないかと心配で、途中でやめられなくなっていました。

A君は、睡眠不足が続いた影響で、学校の授業に集中できなくなっていました。成績は、オンラインゲームを始める前と比べて、明らかに下がってしまいました。それでもオンラインゲームが止められないといいます。

事例 8 (本編 p.23 ~ 25 をご覧ください)

犯行予告など



中学2年生(女子)のAさんは、お小遣い欲しさから、スマートフォンを使ってインターネットの掲示板に「援助交際しよう」と書き込みました。書き込みには、隠語を使って、わかる人にはわかるようにしました。

サイバーパトロールをしていた警察が、その書き込みを発見。Aさんが書き込んだことを突き止め、出会い系サイト規制法違反でAさんを書類送致しました。Aさんは、学校の友達からも避けられるようになりました。

特集の内容や各事例の詳細を掲載しています。 インターネットトラブル事例集ダウンロードページはこちら

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/jireishu.html

インターネットトラブル事例集

検索

e-ネットキャラバン

<https://www.e-netcaravan.jp/>

子どもたちがインターネットのトラブルや事件・事故に巻き込まれないように子どもたちはもとより、保護者、教職員を対象に、講師が学校等へ訪問し、インターネットの安心・安全な利用に関する情報モラル教育を行う講座です。本活動は、総務省・文部科学省より支援を頂き、学校等へ講師を派遣いただく企業・団体の協力の上に運営されています。